



令和2年度 四日市市立

5月27日発行 No.1

教育センターニュース

四日市市教育委員会 教育支援課

〒510-0085 四日市市諏訪町 2-2 (四日市市総合会館6階)

TEL 354-8283 (代) FAX 359-0280

ホームページ <http://www.yokkaichi.ed.jp/e-center/>



教育支援課マスコットキャラクター
しえん君



教育支援課 研修・研究グループ

「タブレット活用指導力向上出前講座」について

本年度は市内全小・中学校で出前講座を実施します。小学校では「タブレットのグループ化及び画面合体機能、思考ツールを活用した実践事例と Zoom の機能」を、中学校では「タブレットの基本操作及びスカイメニュークラスの機能（カメラ、マーキング、画面一覧、教材配信）と Zoom の機能」を紹介する予定です。

1人1台端末環境は、もはや令和の時代における学校の「スタンダード」であり、特別なことではありません。ICT を活用することにより「一斉指導による学び（一斉学習）」に加え、「子どもたち一人一人の能力や特性に応じた学び（個別学習）」、「子どもたち同士が教え合い学び合う協働的な学び（協働学習）」を推進していくことが重要とされています。

1人1台端末環境の下、子どもたちがICTを活用して主体的に学習する「新しい学び」を創造する授業に向けて、教員には指導技術のより一層の充実が求められています。ICT機器の扱いが苦手な方でも、十分理解いただけるような講座内容になっておりますので、積極的にご参加ください。



「オンライン会議及び研修」について

『1人1台端末』の早期実現や、家庭でも繋がる通信環境、ハード・ソフト・人材を一体とした整備等を加速することで、緊急時においても、ICTの活用により全ての子どもたちの学びを保障できる環境を早急を実現する国家プロジェクト「GIGA スクール構想」が新しい展開を見せています。このような状況の中、緊急時における会議の在り方の1つである、オンライン形式による会議に注目が集まっています。

先日、教育委員会が主催する「初任者研修・若手教員研修」をオンライン研修で行いました。右の写真がその時の様子です。研修だけでなく、ゲストティーチャーにオンラインでの参加を依頼するなど、授業に活用することも可能です。

オンライン会議及び研修を実施することで得られる知識や経験は、緊急時におけるオンライン形式の授業に係る指導力の向上につながっていきます。5月1日の学校掲示板にて、アカウント取得方法を含むマニュアルをお知らせしました。学校間での会議、研修会に外部講師をオンラインで参加していただく等、各校の状況に応じて積極的にご活用ください。





「わくわく教室」のご案内（小学校）

わくわく教室では、不登校や不登校傾向のある小学生の集団SSTを行っています。子どもたちが話し合いで活動内容を決め、ゲーム（ハリガリ、ジェンガ、ストラックアウトなど）を楽しむ中で、ソーシャルスキルを身に付けていきます。参加させたい子どもがあれば、ご一報ください。見学もできます。（水曜日9：00～10：00 総合会館6階集団学習室にて）

特別支援教育の研修動画を配信しています

担当者研修会等の代替として、動画撮影して配信しています。校務用の一人一台PCから手軽に視聴できます。各校へ送信したメールからリンクしています。（Horizonは使いません）

【配信済み】

- ・特別支援学級教育課程説明会（R2.3）
- ・特別支援教育コーディネーター担当者研修会（R2.4）
- ・特別支援学級担任として知っておきたいこと（R2.5）

【今後配信】

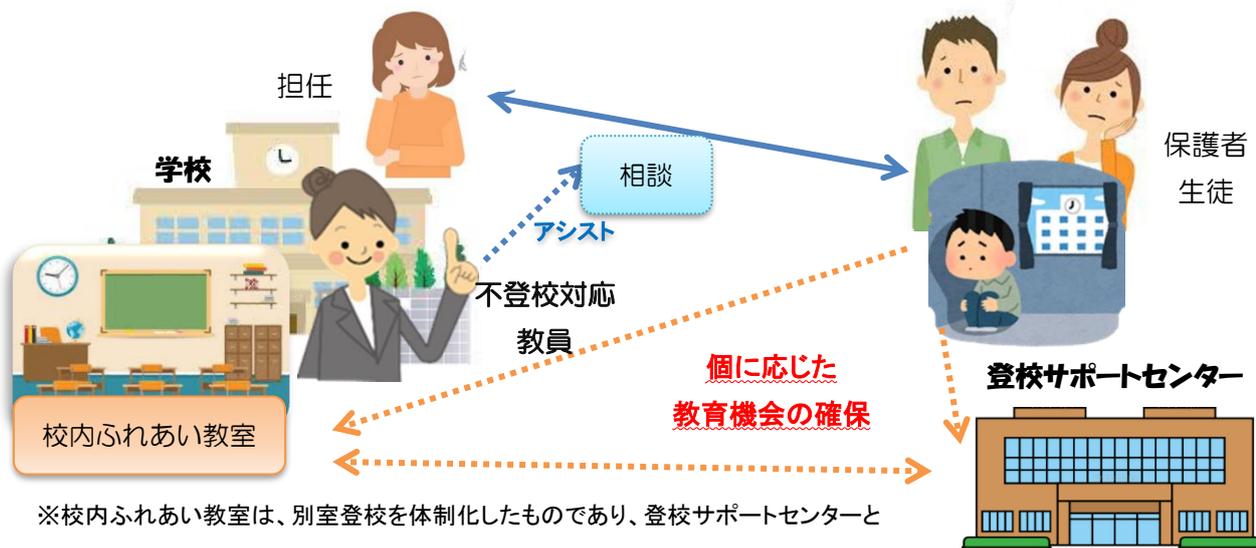
- ・特別支援学級進路指導研修会（R2.6 予定）



登校サポートセンター（ふれあい）

不登校対応教員の配置について（中学校）

令和2年度より、市内中学校3校に不登校対応教員を配置しました。不登校対応教員は、不登校生徒への指導・支援について、校内でのチーム支援の中心的役割を担うとともに、校内ふれあい教室の運営を行います。



※校内ふれあい教室は、別室登校を体制化したものであり、登校サポートセンターと様々な連携を行っています